

通 告 質 問 一 覧 表

(令和8年6月定例市議会)

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
1	<p>【代表質問】 高梁政志会 6番 長 田 伸 彦</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 市内産婦人科閉院を受け、妊婦と家族を支える具体的支援について <ol style="list-style-type: none"> (1) 市内唯一の産婦人科閉院後においても、妊婦が安心して継続的に健診を受けられる環境をどのように確保していくのか (2) 総社市や倉敷市等市外への通院を余儀なくされている妊婦や家族に対する、移動費や宿泊費の負担軽減策について 2 人口減少社会の中で、根拠ある定住政策を進めるための実態把握と政策検証について <ol style="list-style-type: none"> (1) 現在、市では転入・転出時の実態把握が十分行われていない中で移住・定住施策を進めていると考えるが、エビデンスに基づく政策形成を進めるためのデータ収集と分析体制について 3 国際交流を生かした、子供たちの可能性と地域の魅力を広げる取組について <ol style="list-style-type: none"> (1) トロイ市派遣事業について、今後の継続判断をどのように行うのか (2) AIが普及するこれからの時代において、対話力や異文化理解の重要性が高まる中、イングリッシュキャンプ等を活用し国内留学として新たな国際交流施策を高梁市の魅力づくりにつなげていくべきではないか 4 鶴寿荘をめぐる民間提案への対応と、市の考え方について <ol style="list-style-type: none"> (1) 鶴寿荘について、民間事業者から活用提案等が行われた経緯を踏まえ、市がどのような協議・検討を行い、どのような判断に至ったのか
2	<p>14番 川 上 博 司</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 公共交通施策について <ol style="list-style-type: none"> (1) 三重県菰野町の視察研修で学んだことを参考に問う <ol style="list-style-type: none"> ① 高梁市Ma a Sの実用化に向けて取り組むべきではないか 2 関係人口について <ol style="list-style-type: none"> (1) 関係人口の「見える化」に取り組むべきではないか 3 観光施策について <ol style="list-style-type: none"> (1) 滞在型観光の取組「風の通り道プロジェクト」を市として支援していくべきではないか 4 スマートシュリンク（賢い縮小）について <ol style="list-style-type: none"> (1) 人口減少下における賢い縮小戦略であるスマートシュリンクについて、市長の認識を問う
3	<p>11番 宮 田 好 夫</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 中東情勢による本市への影響について <ol style="list-style-type: none"> (1) 物価上昇や資材不足により、自治体の事業にも影響が出ていると言われているが、行政サービスや本年度の主要事業への影響はあるのか

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
3	11 番 宮 田 好 夫	<p>2 高梁北中学校の統合について</p> <p>(1) 川面・高倉地域を対象に説明会があったが、統合に向けたスケジュールはどう考えているのか</p> <p>(2) 統合に向けてどのような課題があると想定しているのか</p> <p>(3) 川面・高倉地域には公共交通がない地区も多いが、通学手段はどうするのか</p> <p>3 外国人との共生について</p> <p>(1) 市の住民基本台帳による外国人住民の人口は、令和になって 900 人台で推移している。その方々に対してどのように行政情報を提供しているのか</p> <p>(2) 市内の案内板やパンフレットについて、外国語表示は進んでいるのか</p> <p>(3) 災害時の情報伝達や避難所対応はどのように考えているのか</p> <p>4 伯備線全線開通 100 周年について</p> <p>(1) 昨年 9 月定例会で、伯備線全線開通 100 周年に向けて、総社市や新見市と連携し記念事業や観光誘客事業を考えていきたいとあったが、その後の進捗を問う</p>
4	10 番 森 和 之	<p>1 学童保育について</p> <p>(1) 令和 7 年 1 月から学童保育の運営業務が民間委託され、1 年が経過した。この 1 年間の運営状況をどのように総合評価しているのか</p> <p>(2) 「人材確保」「研修体制の強化」「活動内容の充実」は、どの程度達成されたと認識しているのか</p> <p>(3) これからも休止、廃止する学童保育が考えられるが、運営に当たって一定の方針はあるのか</p> <p>(4) 今年度末には契約期間が満了するが、次年度の事業者についてはどうするのか</p> <p>2 市職員の働き方について</p> <p>(1) 役職定年職員の配置が、組織の新陳代謝や若手のキャリア形成にどのような影響を与えているか問う</p> <p>(2) 超過勤務は所属長の許可があって行うものと認識しているが、超過勤務の管理は適切に行われているのか問う</p> <p>(3) 新人職員だと市民から分かるような取組は考えられないか</p> <p>3 観光について</p> <p>(1) 日本遺産である吹屋の町並みを守るために古民家を再生した一棟貸しの宿泊施設整備が行われているが、市街地の町並み整備についてはどのような計画を持っているのか</p> <p>(2) 観光課と DMO の役割分担が曖昧なままでデータに基づく観光戦略が不十分なため、「稼ぐ観光地」への転換が遅れていると感じているのだがどうか</p> <p>4 緊急用ヘリポートについて</p> <p>(1) 市内にあるヘリポートには草刈りや散水を行わないと離着陸できないヘリポートがあるが、市で整備は考えられないか</p>

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
5	12 番 小 林 重 樹	<p>1 日本遺産「ジャパンレッド発祥の地吹屋」について</p> <p>(1) 現在日本遺産吹屋を守るための取組について、文化庁の評価を踏まえ、市は今後どのように取り組んでいくのか</p> <p>(2) 代表的な施設（旧吹屋小学校、笹畝坑道等）の歴史的重要性は認識しているが、他の施設、建物等の調査、研究は進んでいるのか</p> <p>2 「ジャパンレッド発祥の地吹屋」に対する観光振興について</p> <p>(1) 吹屋の現状と、これからの計画について問う</p> <p>(2) 現在の観光地吹屋として足りないもの、また、抱えている問題は何か</p> <p>(3) 来年の森の芸術祭が、市内では吹屋をメインに開かれるが、その内容と観光誘致に向けての方策を問う</p> <p>(4) 森の芸術祭に向け、観光客、インバウンド等へのPRや誘致が必須条件となるが、吹屋にゆかりのある民間企業の活用を図ったらどうか</p> <p>3 市街地における住居対策について</p> <p>(1) 市街地（旧町内）における、空き家、空き地の現状を問う</p> <p>(2) 市街地（旧町内）における、空き家、空き地の全体の件数を把握するため、地籍調査を早急に実施すべきではないか</p>
6	4 番 藤 岡 善 行	<p>1 市営住宅入居時の連帯保証人制度の廃止に伴う行政事務について</p> <p>(1) 連帯保証人制度廃止前に入居した入居者及び連帯保証人への丁寧で親切な告知・連絡が必要ではないか</p> <p>(2) 制度廃止前の連帯保証人に対し、「辞退届出書」を作成し市が送付を行うべきではないか</p> <p>2 国保税の軽減について</p> <p>(1) 国保税の賦課と納入の実態について問う</p> <p>(2) 未納による保険証停止件数を問う</p> <p>(3) 市長は「国保税が高い」と認識しているか</p> <p>(4) 経済的理由による国保税納入困難世帯への親身な対応を行うべきではないか</p> <p>(5) 国保税軽減への市民の要望を解決する施策を問う</p> <p>① 世帯一律2万円の引下げを求める</p> <p>② 18歳まで、均等割の賦課の廃止を求める</p> <p>(6) 国に対して、国保への国庫負担金負担率を、「医療費の45%」に戻すよう要望すべきではないか</p> <p>(7) 国に対して、国保加入者への傷病手当の給付を求めるべきではないか</p> <p>3 不登校の現状と課題及び対応について</p> <p>(1) 本市の小・中学校の不登校の現状と教育長の認識を問う</p> <p>(2) 不登校が子供の「怠け」や親の「甘やかし」と誤解されることがなく、子供の心の傷を癒し、安心して休める環境を整えることが重要であると思うが、見解と対応を問う</p>

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
6	4 番 藤 岡 善 行	<p>(3) 不登校は子供の命の問題でもある。「つらい時には学校を休むことが必要だ」と市長及び教育長からメッセージを発信すべきではないか</p> <p>(4) 不登校の子供を支える保護者への具体的な支援が必要ではないか</p> <p>(5) 教職員の多忙化解消と、子供たちへの過度な成績競争主義の改善の必要性について、市の見解と具体的な対応策を問う</p>
7	7 番 松 岡 隆 雄	<p>1 消防・救急体制について</p> <p>(1) 西分駐所の勤務体制、救急の到着時間、人員体制について問う</p> <p>(2) 有漢・中井地域における消防・救急体制について問う</p> <p>(3) 地域救急支援体制の構築について問う</p> <p>2 高梁市立有漢学園について</p> <p>(1) 開校1年の成果（学力・生活指導・地域連携）について問う</p> <p>(2) 児童生徒数の現状認識について問う</p> <p>(3) 児童生徒数増加に向けた具体策について問う</p>
8	3 番 川 上 雅 美	<p>1 学校給食について</p> <p>(1) 民間委託後の現状と課題について</p> <p>(2) 民間委託後の給食の品質管理について</p> <p>2 買物支援について</p> <p>(1) 地域と連携した支援について市の考えを問う</p> <p>① 宇治地域での実証実験の評価とその検討について</p> <p>② 今後の取組方針について市の考えを問う</p> <p>③ まちづくり推進委員会の関わりについて</p> <p>④ 今後ほかのまちづくり協議会、推進委員会への情報共有について</p> <p>3 地域における役職負担の軽減について</p> <p>(1) 今年度2年に1回の委嘱替えになった愛育委員について</p> <p>① 委員の構成について</p> <p>② 選出方法の周知について</p> <p>③ 今回の選出の中で課題等があったのか</p> <p>④ 活動内容の簡素化、明確化について</p> <p>(2) 各地域コミュニティーの代表者へのアンケート結果について</p> <p>① 結果を踏まえた今後の対応について</p> <p>4 日本遺産について</p> <p>(1) 日本遺産の今までの取組と現在の状況について</p> <p>(2) 今後の計画について</p>

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
9	1 番 榎 隆 宏	<p>1 観光施策について</p> <p>(1) 長年続けている高梁市観光協会への市職員の派遣について、どのように評価し、来年度以降の派遣をどのように考えているのか</p> <p>(2) 現在、観光振興の具体的な計画はないが、このまま計画を策定せずに観光施策を行うのか</p> <p>2 水道事業の職員体制について</p> <p>(1) 4月から西拠点として、成羽・川上・備中地域の水道担当者3人を成羽地域局へ集約し、2か月経過したが、現状をどのように評価をしているのか</p> <p>(2) 現在、水道担当職員に技術職員はいないが、水道施設の適正管理のために、技術職員の確保や育成が急務ではないのか</p> <p>3 学校給食について</p> <p>(1) 本年4月から川上学校給食センターが高梁学校給食センターに統合し、また、学校給食センターの民間委託が開始されたが、現状をどのように評価しているのか</p> <p>(2) 統合のため配送距離が長くなった学校があるが、適温給食の提供はできているのか</p> <p>4 高校の魅力化について</p> <p>(1) 令和4年度から「高梁市高等学校魅力化推進プロジェクトチーム」を設置し、高校の魅力化に取り組んでいるが、その成果についてどのように分析しているのか</p> <p>(2) 今後、どのような取組を行っていくのか</p>
10	5 番 小 黒 ゆかり	<p>1 市内婦人科閉院後の医療体制について</p> <p>(1) 妊婦健診受診者への対応について問う</p> <p>(2) 婦人科受診者への対応について問う</p> <p>(3) 成羽病院の役割について問う</p> <p>2 有漢学園における児童生徒への支援体制について</p> <p>(1) 中井小学校、巨瀬小学校統合後の児童生徒の状況把握について問う</p> <p>(2) 保護者対応の体制について問う</p> <p>(3) 教職員の働き方と子供と向き合う時間の確保について問う</p>
11	9 番 金 尾 恭 士	<p>1 市の事務処理について</p> <p>(1) 災害復旧事業に係る不適切な事務処理に関する再発防止策が作成された。その後の事務処理についての評価と課題を問う</p> <p>① 再発防止策の効果について問う</p> <p>② 職員研修の効果について問う</p> <p>③ 令和6年度以降も監査報告書には、財務事務の執行では支払い遅延や契約事務等に不適正な処理が見受けられたとの指摘が後を絶たない。再発防止策を徹底すべきではないかという点について問う</p>

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
11	9 番 金 尾 恭 士	<p>④ 業務のダブルチェック体制について問う</p> <p>⑤ 市職員のコンプライアンス条例の早期制定について問う</p> <p>2 防災対策について</p> <p>(1) 市の防災計画が修正された。この計画が市民一人一人の安全安心に寄与すべきものとなっているのかを問う</p> <p>① 令和8年5月に気象庁の防災気象情報が大きく変更となったが、市民にどのように告知していくのかを問う</p> <p>② 令和8年5月に修正された県地域防災計画では、NPOとの協力体制を構築することが推奨されているが、市の対応を問う</p> <p>③ 「避難所またはその近傍で地域完結型の備蓄施設を確保」とあるが、運用変更の理由を問う</p> <p>④ ペット同伴の避難について問う</p> <p>⑤ 市はスフィア基準に基づいた防災対策を考えていこうとしているのかを問う</p> <p>⑥ 要支援者の個別避難計画の整備状況の現状を問う</p> <p>⑦ 防災ラジオの自動音声の改善について問う</p> <p>3 教育行政について</p> <p>(1) 令和9年3月末に指定管理契約が更新時期を迎える高梁市図書館について問う</p> <p>① 職員（正社員、契約社員、アルバイト）の人数を問う</p> <p>② 司書の資格を有している人数を問う</p> <p>③ 古文書等史料収集と保存はできているのかを問う</p> <p>④ 高梁市図書館収支報告書によると、資料購入費は令和6年度約780万円で、他の図書館と比較して少額と考えるが、金額について適正かを問う</p> <p>⑤ 高梁市図書館収支報告書によると、蔵書整備費からTRCマーク抽出代約45万円を支出しているが、不備はないのかを問う</p> <p>⑥ 指定管理についてCCCとの話合いの現状を問う</p> <p>⑦ これまでの9年間のCCCへの評価と課題を問う</p> <p>⑧ 今後もCCCへの指定管理を考えているのかを問う</p> <p>(2) 市教育大綱が改正された。そのことも踏まえて市教委の対応を問う</p> <p>① 令和5年度から7年度の全国学力・学習状況調査の市の結果を問う</p> <p>② ICT教育の現状を問う</p> <p>③ 令和8年度ICT支援員配置事業費は約1,400万円だが、前年度より約100万円の増額となっているが、その根拠を問う</p> <p>④ 不登校の現状について対策と対応を問う</p> <p>(3) 備中神楽のユネスコ無形文化遺産登録に向けて、市としてどう取り組んでいくのかを問う</p> <p>(4) 沖縄県辺野古事故が、修学旅行や広島平和学習などの平和学習を実施するに当たり影響はないのかを問う</p>

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
11	9 番 金 尾 恭 士	<p>4 ナフサ由来の石油製品の供給不足の市の現状について</p> <p>(1) ナフサ由来の石油製品の供給不足の市の現状について、どのように把握し、対策を取ろうとしているのかを問う</p> <p>(2) 公共工事における影響について問う</p> <p>(3) 建築製品も滞っている現状がある。「町家ステイ吹屋千枚」の建築への影響について問う</p> <p>5 公共交通施策について</p> <p>(1) 公共交通施策について、他市町村と比べ対策が遅れていると考えるが、市の対策と対応を問う</p> <p>(2) A I デマンド交通や日本版ライドシェア等の導入予定はないのかを問う</p> <p>6 ごみ処理対策について</p> <p>(1) ごみ収集の現状について問う</p> <p>(2) ごみ袋も全国的に欠品の状況にあるが、市の対応を問う</p> <p>(3) 生ごみの収集について問う</p> <p>(4) 資源ごみの収集状況について問う</p> <p>(5) 資源ごみ分別徹底の方策は考えていないのかを問う</p> <p>(6) ごみ処理の官民連携について、市としての展望を問う</p>
12	2 番 前 野 洋 行	<p>1 人口問題について</p> <p>(1) 2025 年国勢調査速報値の公表結果を踏まえた人口減への対応について問う</p> <p>2 観光施策について</p> <p>(1) 観光DMOの取組について問う</p> <p>3 公共施設の在り方について</p> <p>(1) 高梁市公共施設再配置方針で譲渡施設と位置付けられた次の施設の現状と今後の方向性について問う</p> <p>① 公共の宿神原荘（旧サイクリングターミナル）について</p> <p>② 宇治農村型リゾート元仲田邸について</p> <p>(2) 「ラ・フォーレ吹屋」の再開に向けた今後の取組について問う</p> <p>(3) 「高梁市図書館」のこれまでの取組と今後の方針について問う</p> <p>4 ごみ処理体制について</p> <p>(1) ごみ処理体制の現状と今後の課題について問う</p> <p>(2) 課題解決に向けた現在の検討状況について問う</p> <p>5 空き家情報バンク制度について</p> <p>(1) 空き家情報バンク制度により成約した物件の状況について</p> <p>① これまでの登録件数と成約件数の推移について問う</p> <p>② 成約後に転出したケースについて問う</p> <p>③ 契約に当たってのサポート体制について問う</p>

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
12	2 番 前 野 洋 行	<p>6 市職員の働き方について</p> <p>(1) 役職定年職員の現状と今後の方向性について</p> <p>① 令和5年度から令和7年度に役職定年を迎えた職員の就業状況はどのようになっているか</p> <p>② 半公半Xのような働き方はできないか</p> <p>(2) 地域担当職員の取組の評価と今後の方向性について問う</p> <p>7 特色ある学校づくりについて</p> <p>(1) 市内小・中学校の学区外通学の現状と今後の方向性について問う</p> <p>8 八重籬神社の修復について</p> <p>(1) 国道沿いにある八重籬神社の石垣に設置されている「コンクリート柱の手すり」の修復、また境内に建てられている「石碑」の修復や活用について、市で何らかの対応ができないか</p> <p>9 山田方谷 150 年祭記念事業について</p> <p>(1) 今年度本番を迎える「山田方谷 150 年祭記念事業」の取組について問う</p>
13	13 番 倉 野 嗣 雄	<p>1 森林環境譲与税について</p> <p>(1) 森林環境譲与税の現在の用途について問う</p> <p>(2) 今後の計画と用途について問う</p> <p>2 工業団地について</p> <p>(1) 巨瀬町地内にある市有地の今後について問う</p> <p>(2) 定住に向けた利用は考えられないか</p> <p>3 観光施策について</p> <p>(1) 備中松山城周辺の支障木の伐採を計画してはどうか</p>
14	8 番 平 松 久 幸	<p>1 高梁国際ホテルについて</p> <p>(1) これまでの市の判断と責任について</p> <p>① 現経営者との契約延長を続けてきた合理的な理由は何か</p> <p>② 契約更新の際に数値目標や改善条件を設定してきたのか。設定している場合、その達成状況はどうか</p> <p>③ 市として契約延長する明確な判断基準は存在するのか</p> <p>④ 「市が所有し続けること」が本当に最善なのか。期限を切った出口戦略を検討すべきではないのか</p> <p>(2) 市民への説明責任について問う</p> <p>① 公金を投入しており、市有施設でありながら市民に十分説明されているとは言い難い。今後、市民に対してどのように情報公開と説明責任を果たしていくのか</p> <p>2 教育行政について</p> <p>(1) 市の現状の教育の「最大の課題」をどう捉えて取り組んでいるのか</p>

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
14	8 番 平 松 久 幸	<p>① 「人口減少・少子化」「地域の教育力」「教職員の負担」など、どの分野を特に重視するのか</p> <p>(2) 市の子供たちの「学力・人間力」をどう伸ばしていく考えか</p> <p>① 小・中学校での学力差や地域差にどう対応しているのか</p> <p>② ICT教育や探究学習など、新しい学びの形をどう展開しているのか</p> <p>③ 部活動や地域活動を通じた「社会で生きる力」をどう育てるのか</p> <p>(3) 教育長として、教育委員会全体の運営をどのようにリードしているのか問う</p> <p>(4) 教育現場の声をどう吸い上げ、施策に反映していくのか</p> <p>① 教職員・保護者・地域住民の意見を聞く仕組みはどうか</p> <p>② 学校現場の自主性をどう尊重しているのか</p> <p>③ 学校現場の負担を減らす工夫はどうか</p> <p>3 県立高校について</p> <p>(1) 県立高校の魅力化に向けて様々な取組を進めているが、主な取組を問う</p> <p>(2) 生徒数だけで再編を考えることは地域の実情に合っていないのではないのか。市として県にどのように意見を伝えているのか</p> <p>4 備中高梁館（旧吉田邸）について</p> <p>(1) 市のアンテナショップとしての役割や内容を問う</p> <p>(2) 平成28年に改修を終え、今年で10周年を迎えるが、今後はどのような活用を考えているのか</p>